

<活動の概要>

科研を中心に本年度活動した。

科研「ヴィジュアルリテラシー普及にむけた基準策定とツールの開発」を実施延長し、ヴィジュアルリテラシーへ向けたツール開発と調査、それらに関する研究会を実施した。

子どもに向けたヴィジュアルリテラシー&プログラミング思考実践として、愛知県児童総合センターにて「メディア実験室」を実施した。また、本巣市教育委員会との共同研究「森のアートプロジェクト」を根尾小学校にて実施した。

社会活動として、非常勤講師として、名古屋工業大学にて「技術戦略特論」の講義、名古屋芸術大学にて「インターメディア表現」の演習を実施した。また、大学間連携として昨年度に引き続き「クリスタル広場ビジョン7 大学連携企画 LED. 実行委員会 (Leading Educational group for Display research)」を実施した。

<学内活動>

1 科研：「ヴィジュアルリテラシー普及にむけた基準策定とツールの開発」

ヴィジュアルリテラシー教育をひろく社会に普及することを目指して、調査をおこない、ツールを開発し、基準を策定することである。今日、インターネットや SNS といった電子メディアを通して、多様かつ大量な視覚情報が絶え間なく私たちに送られてくる。その読解と活用は日常生活において一層重要性を増している。欧米における普及に比して、日本では、市民の理解は遅れている。本研究グループがこれまで進めてきた、大学におけるヴィジュアルリテラシー教育に関する成果をふまえ、企業、地域、中等教育へと展開する。国内外の事例を文献と訪問によって調査し、実践方法を議論し、ツールを開発する。そして、ヴィジュアルリテラシー普及のための基準を策定する。

1.1 研究会

第 1 回研究会

日時：2020/07/31

場所：オンライン

第 2 回研究会

日時：2021/09/05

場所：オンライン

第 3 回研究会

日時：2021/12/11

場所：Phone Studio

第 4 回研究会

日時：2022/02/22

場所：情報科学芸術大学院大学

1.2 学会発表「日本デザイン学会第 68 回春季研究発表大会」

題目：プロトタイピングへ向けたアイディエーションツールの検討

著者：鈴木宣也

日時：2021/06/25～2021/06/27

会場：長岡造形大学（オンライン）

※グッドプレゼンテーション賞受賞

2 子どもに向けたヴィジュアルリテラシー&プログラミング思考実践研究

プログラミング教育が 2020 年に小中学校に導入が始まった。プログラミング教育は、論理的な思考や問題解決力の獲得や、情報通信に関するエンジニアの不足に対応するなど期待されるところではある。一方で、言語的なプログラミングの習得を小学生からする必要のあるのかは疑問が残る。それは「物事を学ぶには適切な年齢がある」という点である。これについて何ら議論も研究結果も出しておらず、子どもを被験者とした実験とも捉えられる状況だ。「Screen Scholed」には、教育現場におけるテクノロジーの使用が子どもに与える影響をまとめている。その中で、集中力、社交性、批判的思考、問題解決といった子どもの能力が著しく下がっているとの指摘がある。メディアを再考しながら子どもへ向けたワークショップについて検討した。

2.1 メディア実験室

「unlearn」という言葉がある。既成の知識を得るのではなく、学ぶのは逆の方向を志向して、そこから離れてみることを意味する。小学校にあった理科実験室には、好奇心が旺盛で、怖いもの見たさの子どもには、密やかな魅力に満ちていた。そこは手際よくまとめられてはいるけれど味気ない教科書を使った学びとは違って、一人一人が何かを発見できそうな、今にして思えば「unlearn」な場所であった。この「メディア実験室」も、コンピュータが並ぶ、すまし顔の空間ではなく、まだまだ得体のしれないメディアなるものを実験してみようというお部屋である。

日時：2021/11/27-2021/11/28

会場：愛知県児童総合センター

参加大学：

- ・名古屋芸術大学
- ・情報科学芸術大学院大学
- ・愛知淑徳大学
- ・静岡理科大学

出展作品：

- ・ラウド！グラウンド！
- ・タッグでポン！
- ・くねくねウォーキング！

メンバー：小林玲衣奈、川田祐太郎、鈴木宣也



2.2 修了展示発表会「メディア実験室」

実施日時：2022/02/20-2022/02/23

出展作品：

- ・ラウド！グラウンド！
- ・Ropework

メンバー：小林玲衣奈、川田祐太郎、鈴木宣也

3 共同研究：本巢市「森のアートプロジェクト」

本巢市は市面積の約8割を森林が占める。その豊かな自然は、市民が誇り、守っていきべき地域の資産であるが、近年では森林に触れる機会が減少し、次世代を担う子どもたちの関心もそれほど高くない。このような背景から、本プロジェクトでは、森林に向きあいながら、五感で感じた森林という環境を、多様なICT機器を活用しながら表現し、森林への理解と発見を学ぶ機会を創出した。

日時：2021/11/09-2021/11/10

場所：根尾小学校

メンバー：鈴木宣也、金山智子、吉田茂樹、小林孝浩、岡崎友恵



4 学外プロジェクト：「クリスタル広場ビジョン7大学連携企画LED. 実行委員会 (Leading Educational group for Display research)」

名古屋の中心として新しくなったクリスタル広場は、LED柱によるディスプレイ空間として生まれ変わった。これまでの平面大型LEDディスプレイとは異なり、柱4面をディスプレイとした立体感のあるオブジェと表示装置を組み合わせた新しい映像装置が設置された。4本の柱により映像空間が作られ、公共の場において新たな映像空間体験のできる貴重な場でもある。そのような新しい映像空間の可能性を念頭に、愛知・岐阜の映像メディアを専門とする7つの大学が集まり大学間連携し、それぞれの学生がこのLED柱を使った思い思いの表現へ取り組み、41作品が集まった。実験的だが新たな表現媒体へ学生が触れる良い機会であるとともに、クリスタル広場を訪れた方々へ新たな体験を提供する。



日時：2022/01/13-2022/02/04

場所：クリスタル広場ビジョン

参加大学：

- ・愛知県立芸術大学
- ・愛知淑徳大学
- ・情報科学芸術大学院大学
- ・椋山女子学園大学
- ・名古屋学芸大学
- ・名古屋芸術大学
- ・名古屋造形大学

<学外活動>

1 非常勤講師：名古屋工業大学大学院「技術戦略特論」

日時：2021/04/1-2021/08/31

内容：建築・デザイン学科と情報工学研究科のコラボレーションによりプロトタイプを作成するプロジェクト。互いの理解を深め、デザイン思考のプロセスを実施し制作を体験。

2 非常勤講師：名古屋芸術大学「インターメディア表現」

日時：2021/11/1-2021/01/31

内容：デジタル表現では、サウンドが、グラフィクスなど他の表現媒体とともに使われ、文学や映画、パフォーマンスなど、多岐にわたった表現に用いられており、それらを複合的に使うことで表現が拡張されてきた。媒体を横断するインターメディアの多様な表現をテーマに、コミュニケーションの可能性について、制作を通して理解する。

<社会活動>

1 ソフトピアジャパン理事

2 岐阜県国民文化祭検討委員会委員

3 岐阜市シビックプライドプレイス整備審査委員

4 ぎふメディアコスモス運営委員

5 岐阜県IoTコンソーシアム理事

6 文部科学省大学等における価値創造人材育成拠点の形成事業審査委員

7 ネットワーク大学コンソーシアム岐阜運営協議会委員

8 NPO 法人うめの森ヴァルドルフ子ども園理事